



横浜市立榎が丘小学校

TEL 045(983)1067 FAX 045(983)5284

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/enokigaoka/>

日本代表として輝く姿 ～来た時よりも美しく～

校長 安東 光

4年に一度のサッカーW杯が北中米で開催され、連日熱戦が繰り広げられています。

日本代表の選手たちは、個々のプレーやチームとしての組織力の高さを感じる連係プレーで素晴らしいパフォーマンスを見せ、見事にFグループを1勝2分で決勝トーナメントに進みました。

この大会に向けて努力を重ねて来たサッカー選手の中には、本来のコンディションならば代表に選ばれて活躍していたはずなのに、けがによって悔しい思いをした選手もいます。そんな選手の思いも背負って代表選手たちは、心を一つにして本気の勝負に挑んでいます。選手一人ひとりの積み重ねてきた努力や様々な背景を知ることにより一層応援する私たちの気持ちも高まります。本気の勝負は、大きな喜び、悔しさ、感動、涙を人々にもたらすパワーがあります。

決勝トーナメントの1回戦、強豪ブラジル代表を相手に前半1-0で折り返したものの、後半終了間際に逆転を許し惜敗となりましたが、私たちの夢が未来へとつながる戦いぶりに感動しました。

榎小では、6月に5年生の道志村宿泊体験学習、6年生の日光修学旅行、4年生の愛川体験学習、2年生の江ノ島水族館遠足と校外学習が続きました。どの学年の児童も仲間と共に協力することの大切さや学校ではできない貴重な体験からの学びを通して仲間意識が高まったり、現地でお世話になった方たちへの感謝の気持ちを感じたりするなど、心の成長が感じられました。

私たちの学校教育現場では、昔から「来た時よりも美しく」という合言葉を使って、遠足、校外学習、宿泊行事の指導を子どもたちにしてきました。「感謝の気持ちを込めて使わせていただいた場所をきちんと清掃し、整え、美しくしていきましょう」という学校教育の積み重ねが、「国際試合で日本代表チームが使ったロッカールームがゴミ一つ落ちていなくて美しい」「スタジアムで観戦した後の日本人サポーターがみんなでゴミ拾いをして観客席をきれいにしている」等にもつながっているのではないかと思います。これらの行動は、SNSを通して世界中に発信され、共感した世界中の人々がその行為をすてきだなと感じ、自分たちもやっていこうという良い流れを起こしています。改めて家庭教育、学校教育の大切さ、影響力の大きさを感じます。

本気の勝負のすばらしさだけでなく試合後の言動、立ち居振る舞いも含めて選手、スタッフ、サポーターの方たちの「日本代表」としての世界に誇れる行動は、これからの未来を創る子どもたちへの素晴らしい手本となる姿だと思います。将来様々な分野の「日本代表」として活躍する榎小の子どもたちを学校、家庭、地域の教育力を結集して育てていきましょう。